

# 各会派による政務調査報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組み実態を視察調査したり、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

## 電子黒板活用について

視察地 宮城県仙台市  
宮城野小学校

視察日 9月30日、  
10月1日

会派 公明党、民主党  
伊新の会

スクールニユーディー  
ル構想に盛り込まれた、「電子黒板」をモデル的に導入し、活用している

教育現場を視察。六年生の理科の授業では、児童たちは電子黒板に映し出される画面を食い入るよう見つめ、先生の話に耳を傾けていた。

この授業を参観し、集中力を高めるとともに、わかりやすい授業を進めることが大いに期待できるものと改めて確信をいたしました。

しかし、先生方は電子黒板を活用した授業を行うため、コンピュータに映像や文字、また、音声を入力するの準備に時間を費やすのではないかと心配されます。話を伺ったところでは、保護者の方々にも好評であり、楽しく分かりやすい授業、そして何よりも学力向上に大いに期待が持てるようです。さらに、理解力・学力・行動面にも良い効果が生まれるようです。



仙台市宮城野小学校にて



当町においても、早期の導入・活用を図る必要性を痛感しました。

この町の「まちづくり委員会」は平成17年に150名の町民が参加した「第四次小布施町総合計画・後期基本計画」策定の際に協働の重要性が議論され、住民参加と町民相互のコミュニケーションの場「町民会議」創設の提言がなされました。

これを受け発足した「町民会議設立検討委員会」は町民32名の委員に加え役場職員も参加し、

視察地 長野県小布施町  
視察日 11月12日、13日  
会派 新政21、  
みらい研伊奈

昨年11月長野県小布施町を視察、訪ねた町は北信五岳、北アルプスを望む美しい自然に恵まれ扇状地にある、人口1万人強の町でした。

議員や自治会長も参加、15回の全体会議、ワークショップや学習会を行い、討議を深めた結果、町民・議会・行政が情報を共有し議論する場、小布施らしい協働の仕組みとして「小布施まちづくり委員会」が平成20年4月に発足したものです。

以来、各部会毎に会議

を聞き、町への提言、町民への提言を「小布施まちづくりボイス」で発信しています。

また、個人の庭108箇所を登録、オープンガーデンブックに紹介、一般に公開していましたが、小布施ブランドを追求する活気ある町でした。



長野県小布施町役場前

## 自立のまちづくり、小布施ブランド 小布施町のまちづくり委員会を学ぶ